



第511号 令和3年2月1日
発行所 京都市学校医会
京都市中京区間之町通竹屋町下ル
楠町601-1 こどもみらい館 2階
TEL (075) 256-0351
FAX (075) 241-3568
発行人 杉本英造

再び緊急事態宣言

会長 杉本英造

1月から再び京都は「緊急事態宣言」発令されました。2月11日に予定されていた第35回京都市小学校「大文字駅伝」大会代替大会も中止となり、児童の元気に走る姿を今年は見ることができず残念です。

令和3年1月現在、2年度健康診断未実施校は、幼稚園1校、小学校6校（内科2・眼科1・心臓二次2）、中学校8校（眼科1・心臓二次3）、高校1校（内科・耳鼻科・眼科）、総合支援2校となっています。令和3年度の学校健診は、文科省通達で現時点では4月から6月の3か月間に施行される予定です。昨年校医ニュース8月号で健診条件として「学校と学校医が協議の上決定した健診日時の3週間前に陽性者が発生していないこと」としていましたが、健診期間が3か月と短く、これまでに感染は家庭内感染が主で、学校内感染は少ないことから、健診条件を当該校の校医の了承をいただけるのであれば、2週間経過すれば健診実施可能にできないか検討中です。今後の感染状況を考慮して参りますが、会員の皆様からご意見いただければ幸いです。

ホームページでも掲載しておりますが、令和2年度日本脳炎第2期予防接種について、1月20日付で小学校3年生児童（保護者）への日本脳炎第2期予防接種の案内文書が配布されました。ワクチン供給不足もあり、医療機関での対応に苦慮される事態に

なり、京都市保健福祉局、京都府医師会と協議し、京都市予防接種協力医療機関、京都市立小・中・総合支援学校長、保護者向けに改めて案内文を配布することになりましたことをお知らせします。（案内文はホームページ参照してください）

令和2年度は、感染症と学校健診対策に追われ、学校医会主催の研修会は何もできませんでした。感染症はまだまだ継続すると思われ、WEB配信の準備を始めていますが、こどもみらい館にWiFi設備がなく、4階研修室にインターネット設備がないことから、検討中です。コロナ感染が収束しましたら研修会開催計画し広報いたします。

今月は8月号に続き、有井悦子先生に「子供に身を寄せて、話を聞くー危機を好機に」を執筆いただきました。有井先生は、最近「子どもは希望を拓いてゆくーともに小児科医の手だてを：かもがわ出版」を出版されました。コロナ禍で、おとなも心が折れますが、さらに弱い立場の子どもたちへの寄り添い方を学んでいきたいと思います。京都市教育委員会発行のリーフレット「高校生サポート」同封しましたのでご一読ください。

日常診療、ワクチン接種問題、4月からの学校健診と慌ただしい春を迎えますが、皆様のご協力をお願い申し上げます。

日本学校保健会創立100周年記念表彰を戴きました

福西小学校医 奥村正治

公益財団法人日本学校保健会は、創立100周年を迎え、昨年・令和2年12月5日に記念式典が経団連会館国際会議場で行われる事になっておりました。記念誌によりますと、大正9（1920）年帝国学校衛生会の創立に端緒をなし、当時の文部省内の修文館

において、大正9年12月5日に創立総会を開催したとなっております。昭和21（1946）年に日本学校衛生会、昭和29（1954）年に日本学校保健会と名称は変わりました。12月の年末に何故式典が開催なのかと思っていました謎が解けました。ちょうど100周



年なのです。

コロナの影響で、大きな表彰の会は催されず、コデンマリと関係者で記念式は行われたようです。

予定によりますと、記念式典の他、記念講演も予定されておりました。

宇宙飛行士・毛利 衛 様

の『宇宙から見た地球圏のOne Health』のお話も消えてしまいました。少し遅れるかも知れませんが、本年3月に「日本学校保健会百年史」が発行される予定になっております。その中に毛利さんのお話が

入っている事を願います。

被表彰者は、都道府県の学校保健会から一名、指定都市の学校保健会から一名、その他、全国学校保健主事会から十二名・全国養護教諭連絡協議会から十三名・日本学校保健会から二名となっております。京都市学校保健会の中では、長年の先生方では京都市学校医会の高島雅行先生や京都市学校薬剤師会の原田敬子先生が該当者になられるはずですが、すでにお亡くなりになっておられます。と言う訳で、当方に順番が回って来たようです。京都府では元府医師会長の森洋一先生です。

学校医定年一年前に思わぬご褒美を戴き、会員の先生方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

文部科学大臣表彰の受賞お礼

西陣中央小学校 鈴木 由一

耳鼻咽喉科学校医としては全国で星谷先生に次いで二人目とのことのようです。

ただ残念なことに本来は全国学校保健・研究大会に於いて壇上にて表彰されるはずでしたが今回は新型コロナウイルス感染症のため大会そのものが中止となり表彰式もなくなりました。学校医として長年お世話になってまいりましたが、定年まであと約1年となりました。もう少しがんばりますのでよろしくお願いいたします。

本当にありがとうございました。



この度はからずも文部科学大臣表彰をいただきました。これも皆様方のご支援あつての賜物と感謝しております。

耳鼻咽喉科医の受賞は平成20年に故星谷 徹先生が受賞されて以来で大変光栄に存じております。聞くとおことによりますと

子どもに身を寄せて、話を聴く一危機を好機に（2）

顧問 有井悦子

式がリモート化された映像も安心の証左になっていきます。

それらの対応が進んでいて、休校に伴う保護者の窮状もあって学校は今回、休校になりませんでした。最も大きい根拠は、小児科学会も示している子どもは、1)うつらない 2)うつさない 3)重症化しにくいということではないでしょうか。その結果、子ども達には集う機会や教育の機会と居場所、受け皿が保障されました。その分、先生方や他の職員の方々は、ひと息つくことも出来ず、消毒などと、子ども達の心身に心を砕くご苦勞を続けておられます。そ

緊急事態宣言が、再び発出されました。命と、命綱である暮らしを守る苦慮からか、昨春よりも緩く、その効果が案じられています。けれども、1年前には正体が判らずに恐れていたCOVID-19の知見も積み重ねられて来ました。1年に亘るこの苦境に、慣れや疲れや諦めに陥っている現状に対し、この宣言を好機にしたいと思えます。

この間、学校では、例えば、昨夏のこのニュースでとり上げ、今、東京の地下鉄の駅の洗面所で接触感染源であると報道されている水道のカランも、迅速にレバー式に換えられました。又、昨年末の終業

れを慮りつつ、蔓延し増大する不安を払拭し、「コロナなんかなくなればいい！」と叫ぶ子どもの怒りを受けとめ、対処するちからを培う好機にするよう図ります。

その1例に、京都嵯峨芸術大学佐々木正子学長が考案されたテーブルマナーマスク制作があります。学長自ら出向かれ、嵯峨小・中と嵐山小で実施されたとの事です。昨年8月、感染リスクが高い会食中の会話への対策として発表され、マスコミにとり上げられましたので、ご存知の先生もおありでしょうか。箸などを持つ手と反対側の手に持ち口元を覆う手持ちマスクで、型紙と不織布があれば作れます。今年に入り、市内公立小中学校に、実施を希望する学校を募る広報がなされました。京都市教育委員会学習指導課の文田先生のお話で、生徒自身の分だけでなく、家族の分、中でもハイリスクの祖父母の分も作り、白い厚紙の持ち手に、祖父母へのメッセージが手書きされたエピソードは、心あたたまるものでした。昨春の長い休校期間を補う密なスケジュールの中、有意義に柔軟に時間が使われています。制作に伴い、改めてコロナの知識と予防を学び直せば理科と保健、役立つものを工夫して制作する図工、コロナ差別や偏見についてや家族の大切さを学び合う道徳の時間として設定されると一石四鳥です。その医学面での話を、お忙しい中、学校医が学校に出向き担って下されば、子ども達は、目を輝かせて聴いて意識を変えられるのではと、厚かましい期待を抱きます。ただ、このマスクで会食を促すものでは勿論有りません。

さて、この苦境下で、身体、暮らしとともに心を守る手立ての要点を述べます。

1つは、人との距離をとる生活が必須な中、家庭内では、ぐっと詰める手立てです。

子どもが「本読んで」「話して」「勉強教えて」と云って来たら、意識して身体を寄せます。「一緒に寝て」と大きくなっているのにも拘らず云って来た時は、不安が高じていると考えられます。例年以上に寒いこの時期に、これ幸いと、「湯たんぼや抱きまくらがわりになるわ」と抱きしめます。それによって「幸せホルモン」「愛情ホルモン」とも称される神経伝達物質オキシトシンの分泌が増加することが、近年の研究でわかっています。この世情下で増大し

ている不安や恐怖、子ども同志で思いきり遊べないなどのストレスを軽減します。そこで、子どもが希望を云い出しやすい、隙のある雰囲気を作れるよう親を支えられたらと思います。

2つ目は、子どもの話をよく聴く手立てです。

子どもが不安や不満や怒りを口にすると、親や先生方は話の主導権をまたたく間に奪ってしまわれるのが日常です。親心や教師心で“助けてい”と助言したり、社会で生きるちからを教諭す機会とばかりに正論や常識で叱咤激励します。けれども、子どもの本当の思いや考えは聴かせてもらわないとわかりません。言葉で表すのに時間がかかる子には、ゆっくり任せて出来る限り焦らせず、不得手な子には、表情、特に目や、身振りをよく見ると伝わるものがあります。中には誤解している場合も有りますが、余程でない限り、“今のこの子にはそう思えるのだなあ”と、肯定も否定もせず、ただ聴いていると、子どもは聴いてもらえる自分の存在に自信が持てます。すぐには解消されない疫病などの場合は、聴いてもらう事は、それを凌いでいく大きなちからとなります。

この子どもが意見を云い、まわりが聴く意見表明権は「子どもの権利条約」の12条で保障されています。日本では、“女・子ども”とひと括りにされ、子どもは意見が軽んじられて来た歴史がありますので、特に意識したい大切な条文です。1989年、国連で満場一致で採択されたこの条約を、日本は1994年、世界で158番目に批准し、国の法律として遵守されます。柱となっている3つのPの理念は、衣食住、保健、医療などの提供（Provide）、戦争や虐待などからの保護（Protect）に加え、子どもが主体となって参加する（Participate）権利です。特に子どもに関する事は、子どもの意見を聴いて、とり入れる大人のちからが試されます。

条約が目指すのは子どもの“最善の利益（best interest）”です。コロナの影響で、学校でのデジタル技術導入が一気に進みました。子ども1人に1台ずつのパソコン端末が与えられ、きめ細かく、ひとり一人に応じた教育が行われるGIGA（Global & Innovation Gateway for All）スクール構想や、35人学級の施策が進みそうで、ひとりづつの“最善の利益”が期待される春です。

第 8 回 常任理事会

令和 3 年 1 月 9 日
於：こどもみらい館 4 階

出席者 杉本会長，井本・山内副会長，大久保・川勝・中嶋・西村・林各常任理事，嶋元眼科学校医会理事，鈴木耳鼻咽喉科専門医会理事，奥村議長，長村・東道監事

・会長挨拶

<報告事項>

1. 日本学校保健会100周年記念表彰 奥村正治先生
2. 日本学校保健会文部科学大臣表彰 鈴木由一先生
3. ラグビー大会の最終報告について
出務医の判断を尊重していただく
4. 色覚相談 12/8 2名，12/15 2名，12/22 2名
5. ツベルクリン反応検査
接種 12/8，判定 12/10
於：京都市総合教育センター 奥村
接種 12/9，判定 12/11
於：京都市教育委員会 体育健康教育室
安野，山内
接種 12/14，判定 12/16
於：京都市総合教育センター
山内，杉本（二重発赤の取り扱いについて）
接種 12/15，判定 12/17
於：京都市教育委員会 体育健康教育室
大久保
6. 精神衛生研究会 12/10
7. ワンポイント相談 12/24 杉本・有井先生
8. コロナ感染報告
9. その他

<協議事項>

1. 生命のがん教育推進プロジェクトチーム委員の推薦について 推薦：井本先生
2. 全理事会について 4/8
於：こどもみらい館第1研修室B 14:00～
3. 総会開催方式について 4/17
於：こどもみらい館第1研修室 15:00～
総会のみ催行し講演会・懇親会中止
4. 第72回指定都市学校保健協議会 5/15
すべてWEBのみ。参加費5000円。
5. 令和2年度4月～12月迄の予算執行状況について
6. 緊急事態宣言下での事務局開設時間について
10:00～16:00
7. その他
・学校医会の研修会をWEB開催するための準備に入る
・次年度の学校健診は4～6月30日の予定。

<関連学会・各種協議>

1. 色覚相談 1/12，1/19，1/26
2. 精神衛生研究会 1/14 中止
3. 第9回常任理事会 2/6 14:00～
5月は5/8とする
4. その他

第 9 回 常任理事会

令和 3 年 2 月 6 日
於 こどもみらい館 4 階

出席者 杉本会長，井本・山内副会長，大久保・中嶋・林各常任理事，嶋元眼科学校医会理事，鈴木耳鼻咽喉科専門医会理事，奥村議長，長村・東道監事

・会長挨拶

<報告事項>

1. 色覚相談 1/12，1/19，1/26，2/2 各2名
2. 今後の健診の在り方・食物アレルギーの管理指導表の変更について市教委との懇談会 1/13
杉本・林
3. 第35回 京都市小学校「大文字駅伝」大会
代替大会 1/11 中止
4. 京都市中学校秋季総合体育大会 ラグビーフットボール種目 於：宝ヶ池グラウンド
2/13，2/20，2/28 中止
5. 精神衛生研究会 2月は緊急事態宣言にて中止
6. その他

<協議事項>

1. 日本脳炎ワクチンについて 第2期接種のワクチン供給不足問題
2. 来年度の耳鼻咽喉科健診について（京都府耳鼻咽喉科専門医会 大島会長より）
①健診方法：問診表を確認して，咽頭健診は医師の判断で実施するようにしたい
②健康診断に係る衛生物品
③健診時のコロナ感染情報：PCR検査の結果にかかわらず実施されていることも連絡いただきたい
3. 学校医の選定について（東山支部の例）
4. WEB会議システムについて
5. その他

<関連学会・各種協議>

1. 色覚相談 2/9，2/16
2. 第10回常任理事会 3/6 こどもみらい館 4 階
14:00～
3. その他